

恒久平和を誓う!

連合は、6月から9月を平和運動強化期間として、6月:沖縄、8月:広島・長崎、9月:根室の4つの平和行動を展開しており、連合群馬もそれらに代表団を派遣して、世界の恒久平和に向けた意識を高める取り組みに参画しています。

そして連合群馬独自の活動としては、前号で報告した、広島親子派遣団や今回紹介する平和パネル展、さらには構成組織、県民の参加による折り鶴作成(今年は112,421羽を集約)、北方領土返還要求署名(8月20日現在17,882名)に取り組んでいます。

今後取り組み予定の、根室平和集会(9月19~22日)、平和学習会(10月開催予定)については次号で紹介します。



平和行動in沖縄

今年の連合平和運動のスタートとなる平和行動in沖縄が6月23日から25日に実施され、16名が参加しました。

初日は、「2008平和オキナワ集会」が那覇市民会館で開催され、高校生からの平和メッセージの朗読や平和の語り部の知念智慧子さんから慶良間島の集団自決について絵本を使って語られました。

その後の平和式典では、高木連合会長から「戦後63年が経ち、未だ世界中で紛争が絶えないが、平和の尊さ、大切さを深く心に刻み、世界平和のためにも、史上まれに苛烈を極めた沖縄戦の惨劇を決して忘れてはいけない。」との挨拶があり、連合広島へのピースリレーならびに平和アピールの採択を行ないました。

2日目は、独自の戦跡めぐりにより、①平和祈念公園にある群馬県出身戦没者が祀られた群馬の塔へ折り鶴献納(1万6



群馬の塔前にて

千羽)、②平和祈念資料館での沖縄戦や沖縄の歴史を学習、③ひめゆりの塔への参拝と若くして戦争に借り出された学徒隊の学習、④戦時中、野戦病院として使用されていたアブチラガマの見学など、沖縄戦の悲惨な状況を学び、恒久平和への意識を高めました。



▲平和の語り部:知念智慧子さんによる平和への証言



▲アブチラガマにて、現地ガイドの説明に真剣に耳を傾ける団員

平和パネル展



▲群馬県勤労福祉センター1階

▲前橋テルサ4階

8月1日から群馬県勤労福祉センター、8月8日からは前橋テルサで「平和パネル展」を開催しました。

平和パネル展は、現地を見聞きできない県民を対象に戦争の悲惨さや被爆時の惨状を写真を見ることで感じ、核兵器の廃絶と平和意識の高揚を高める取り組みとして行いました。

両会場とも来館者が足を止め、パネルに見入っていました。